

協働に関する職員アンケート結果【速報】

1 調査対象

正規職員（嘱託、再任用、臨時職員除く）

2 調査形式

無記名式アンケート調査

3 調査数及び回答数

調査数	563 人		
回答数	418 人	前回より12名増	406
回答率	74.2 %	前回より1.1ポイント減	75.3

4 調査期間

平成30年1月15日～平成30年2月9日

5 調査方法

調査票を各課に人数分配布

6 結果概要

「協働」という言葉について

- ・総数では、「聞いたことがあり、だいたい意味を知っている」がもっとも多く半数以上。
- ・年数別では、全ての年代で「聞いたことがあり、だいたい意味を知っている」が多い。
- ・「聞いたことはない」と答えた割合は、「～5年」が一番少なく0人であった。
職級別では、「一般職」が「聞いたことがあるが、意味がよく分からない」の「聞いたことがない」の半数以上を占めている。職級が上がるにしたがって、聞いたことがあり意味を知っている職員が増加している。

「協働」のイメージについて

- ・総数では、「目的や役割分担を決めて、継続的な関係のもとで協力して事業を行う」と「市民や行政がともに主催者として事業を行うこと」がもっとも多い。
- ・年数別や職級別でも総数と大きな違いは無い。
- ・ほとんどの選択肢を選んでいる人もいて、全て協働という認識を持っている人もいる。

「とつげき！となりの市民協働」について

- ・総数では、「知っていて、読んだことがある」が僅差で「知らない」を上回っている。
- ・職級別では、「一般職」が「知らない」の大半を占めている。

「協働の経験」について

- ・総数では、「協働した経験がある」、「協働した経験がない」が共に約40%となった。
- ・年数別では、年数が高くなるほど協働し経験がある割合が高い。
- ・職級別では、「一般職」が「協働した経験がない」の大半を占めている。

「協働したことで課題に感じること」について

- ・「行政単独で行うより時間や手間が増えた」が一番多く、続いて「協働の相手先の行政への期待値が高すぎた」の回答が多かった。

「協働を進めていく必要性について」

- ・総数では、「必要だと思う」「どちらかと言えば、必要だと思う」が、約85%を占める
- ・年数別、職級別では、それぞれで大きな差は見られない。

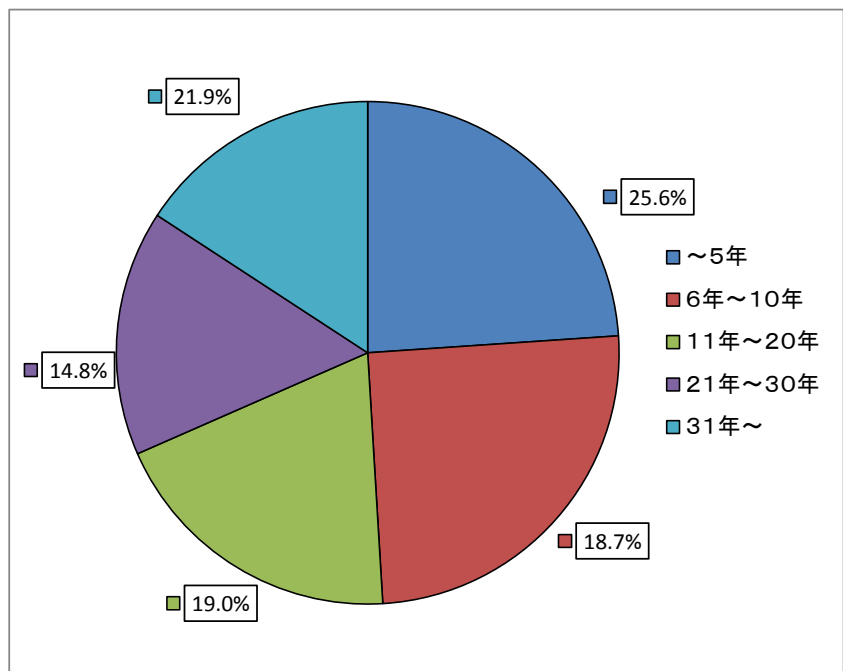
7 集計結果

別紙のとおり

問1. あなた自身のことについておたずねします。(平成30年1月1日時点の状況でお答え下さい。)

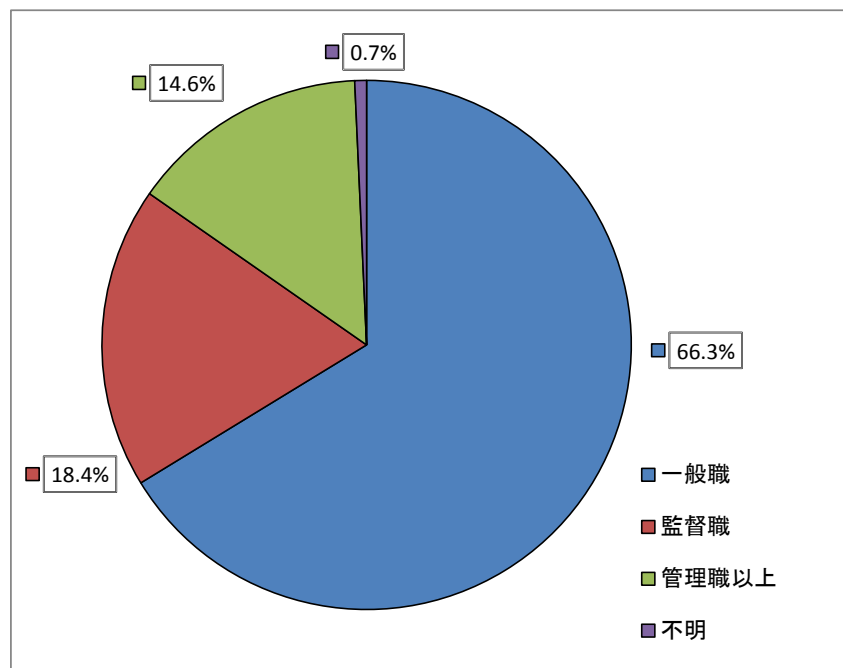
1-1. 長岡京市役所職員となって何年目ですか？

回答	計
～5年	100
6年～10年	105
11年～20年	81
21年～30年	66
31年～	66



1-2. 現在の職級をお答えください。

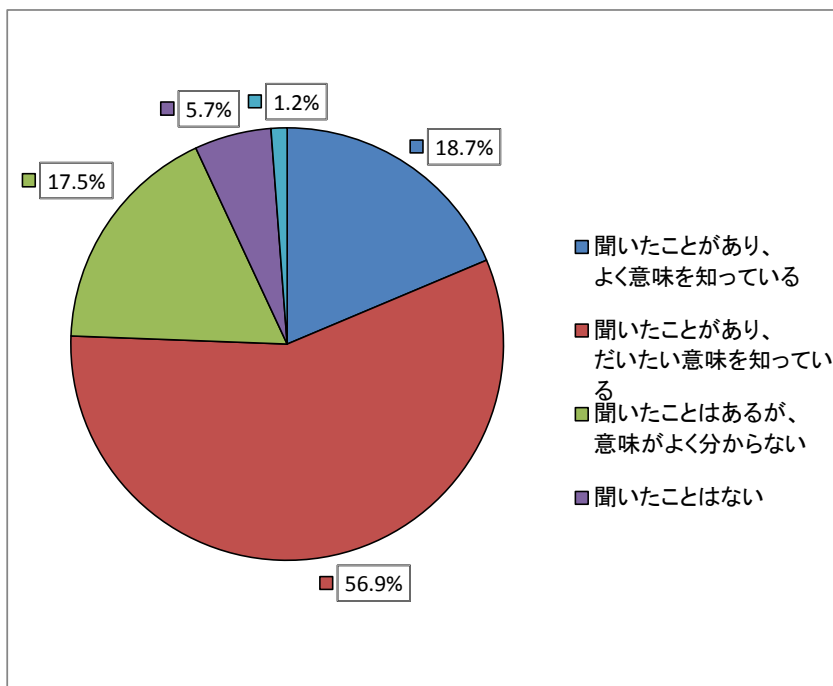
回答	計
一般職	277
監督職	77
管理職以上	61
不明	3



問2.「協働」に関わること全般についておたずねします。

2-1.「協働」という言葉を聞いたことがありますか？また「協働」とは「異なる立場の人が、得意な分野の力を出し合い、共通の課題・目的に向かって責任を持って取り組むこと」という意味だと知っていますか？

回答	計
聞いたことがあり、よく意味を知っている	78
聞いたことがあり、だいたい意味を知っている	238
聞いたことはあるが、意味がよく分からない	73
聞いたことはない	24
不明	5



年数別

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
聞いたことがあり、よく意味を知っている	20	20	12	10	16
聞いたことがあり、だいたい意味を知っている	61	63	50	27	37
聞いたことはあるが、意味がよく分からない	19	18	14	13	9
聞いたことはない	0	3	5	14	2
不明	0	1	0	2	2

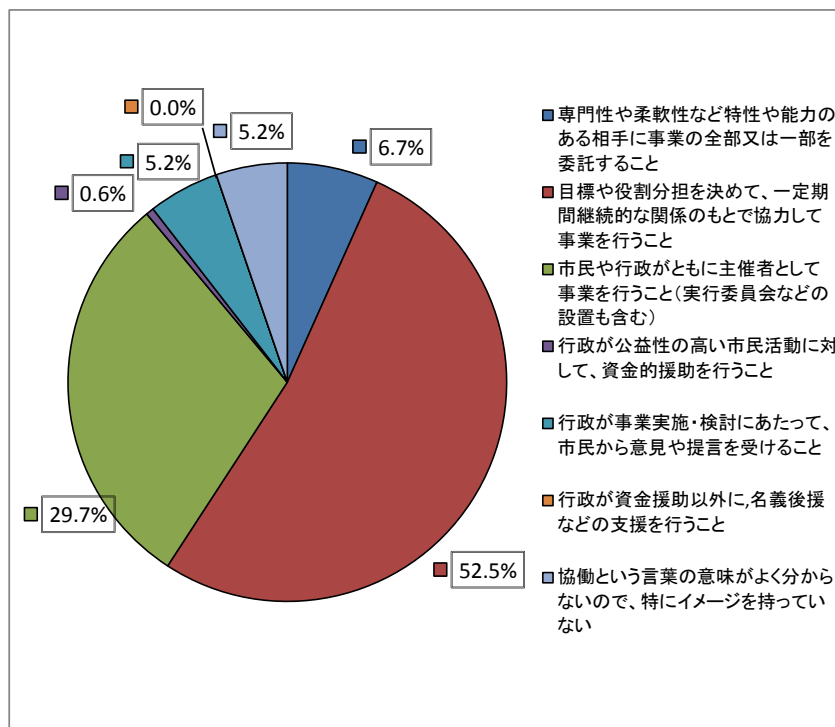
職級別

回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
聞いたことがあり、よく意味を知っている	37	18	22	1
聞いたことがあり、だいたい意味を知っている	155	47	36	0
聞いたことはあるが、意味がよく分からない	62	9	1	1
聞いたことはない	22	1	0	1
不明	1	2	2	0

2-2.「協働」について、あなたのイメージに最も近いものを一つお答えください。
(当てはまること全てに○、最も当てはまるもの1つに◎)

最も当てはまるもの(◎)

回答	計
専門性や柔軟性など特性や能力のある相手に事業の全部又は一部を委託すること	23
目標や役割分担を決めて、一定期間継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと	180
市民や行政がともに主催者として事業を行うこと(実行委員会などの設置も含む)	102
行政が公益性の高い市民活動に対して、資金的援助を行うこと	2
行政が事業実施・検討にあたって、市民から意見や提言を受けること	18
行政が資金援助以外に、名義後援などの支援を行うこと	0
協働という言葉の意味がよく分からないので、特にイメージを持っていない	18



年数別

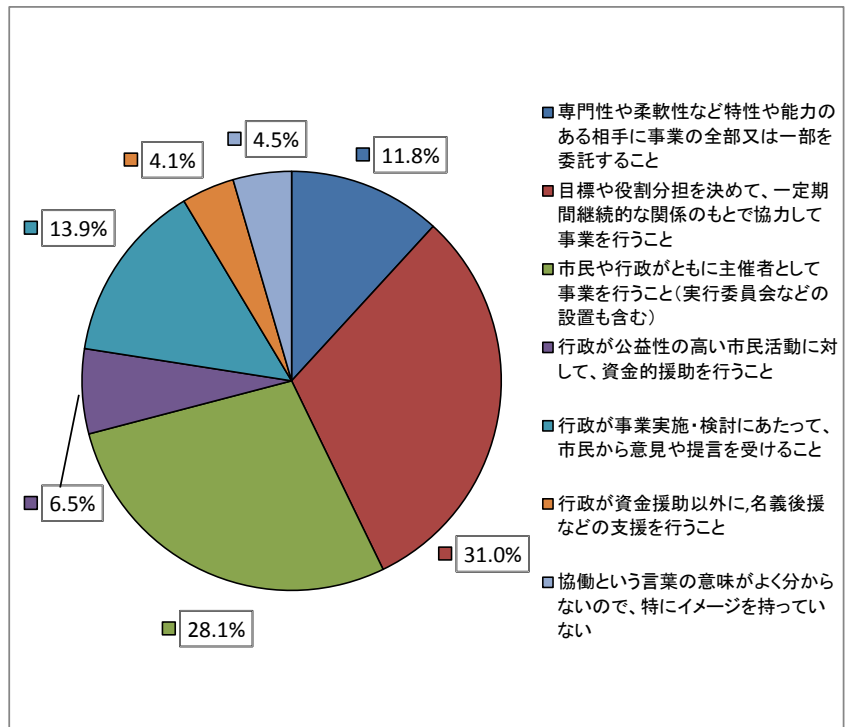
回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
専門性や柔軟性など特性や能力のある相手に事業の全部又は一部を委託すること	6	7	5	3	2
目標や役割分担を決めて、一定期間継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと	48	42	40	21	29
市民や行政がともに主催者として事業を行うこと(実行委員会などの設置も含む)	23	36	15	16	12
行政が公益性の高い市民活動に対して、資金的援助を行うこと	0	1	0	0	1
行政が事業実施・検討にあたって、市民から意見や提言を受けること	6	3	4	2	3
行政が資金援助以外に、名義後援などの支援を行うこと	0	0	0	0	1
協働という言葉の意味がよく分からないので、特にイメージを持っていない	4	3	4	6	1
不明	13	13	13	18	18

職級別

回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
専門性や柔軟性など特性や能力のある相手に事業の全部又は一部を委託すること	17	4	2	0
目標や役割分担を決めて、一定期間継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと	103	44	33	0
市民や行政がともに主催者として事業を行うこと(実行委員会などの設置も含む)	68	19	15	0
行政が公益性の高い市民活動に対して、資金的援助を行うこと	1	0	1	0
行政が事業実施・検討にあたって、市民から意見や提言を受けること	15	3	0	0
行政が資金援助以外に、名義後援などの支援を行うこと	0	0	0	0
協働という言葉の意味がよく分からないので、特にイメージを持っていない	16	1	0	1
不明	57	6	10	2

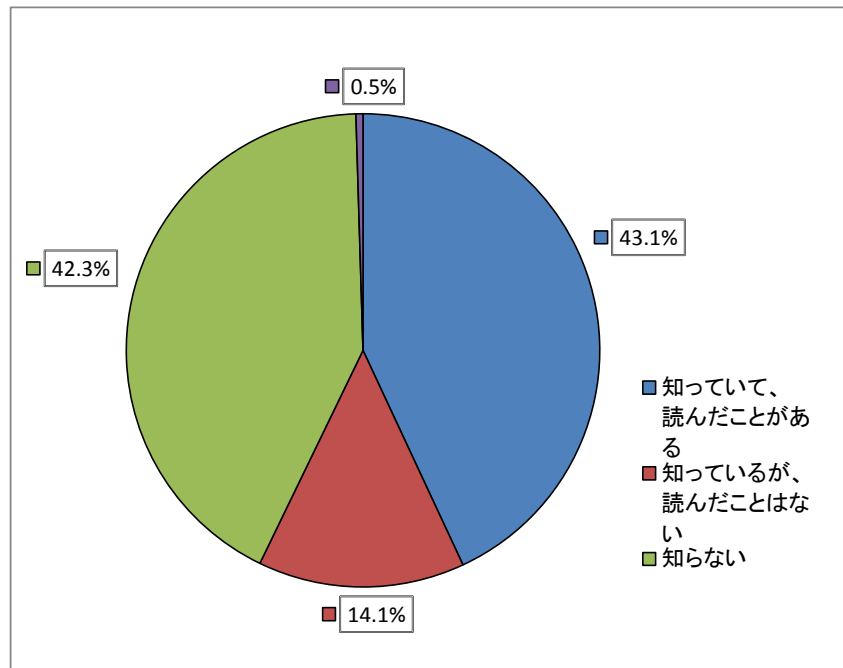
当てはまるもの(○)

回答	計
専門性や柔軟性など特性や能力のある相手に事業の全部又は一部を委託すること	110
目標や役割分担を決めて、一定期間継続的な関係のもとで協力して事業を行うこと	289
市民や行政がともに主催者として事業を行うこと(実行委員会などの設置も含む)	262
行政が公益性の高い市民活動に対して、資金的援助を行うこと	61
行政が事業実施・検討にあたって、市民から意見や提言を受けること	130
行政が資金援助以外に、名義後援などの支援を行うこと	38
協働という言葉の意味がよく分からないので、特にイメージを持っていない	42



2-3. 協働ワーキング発行の「とつげき！となりの市民協働」を知っていますか？また読んだことがありますか？

回答	計
知っていて、 読んだことがある	180
知っているが、 読んだことはない	59
知らない	177
不明	2



年数別

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
知っていて、読んだことがある	39	54	40	19	28
知っているが、読んだことはない	11	13	11	10	14
知らない	50	38	30	36	23
不明	0	0	0	1	1

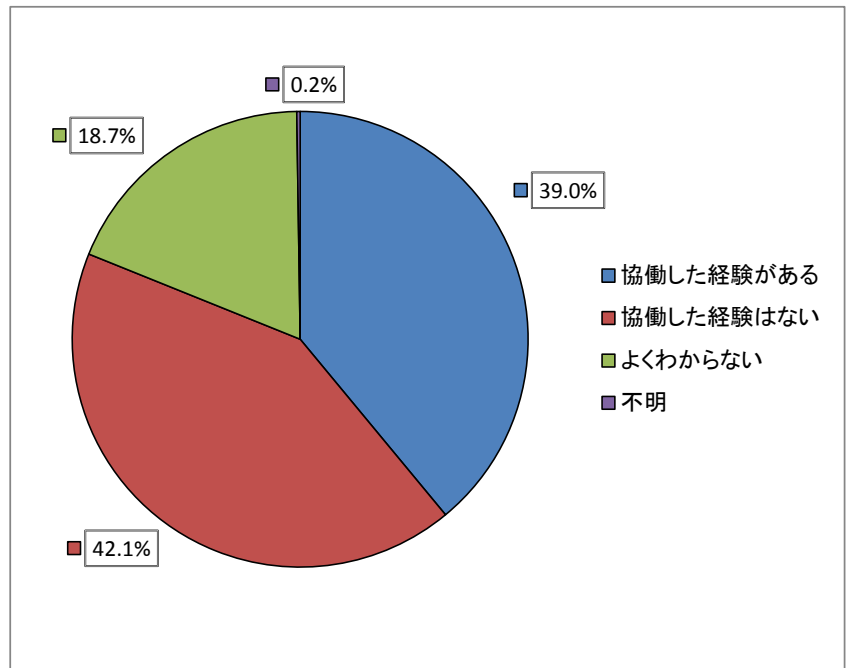
職級別

回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
知っていて、読んだことがある	98	44	37	1
知っているが、読んだことはない	32	14	13	0
知らない	146	19	10	2
不明	1	0	1	0

問3. あなた自身と協働についておたずねします。

3-1. これまでの担当業務の中で、個人や市民(地域)活動団体等と協働した経験はありますか。

回答	計
協働した経験がある	163
協働した経験はない	176
よくわからない	78
不明	1



年数別

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
協働した経験がある	36	36	36	22	33
協働した経験はない	43	52	30	23	28
よくわからない	21	17	15	20	5
不明	0	0	0	1	0

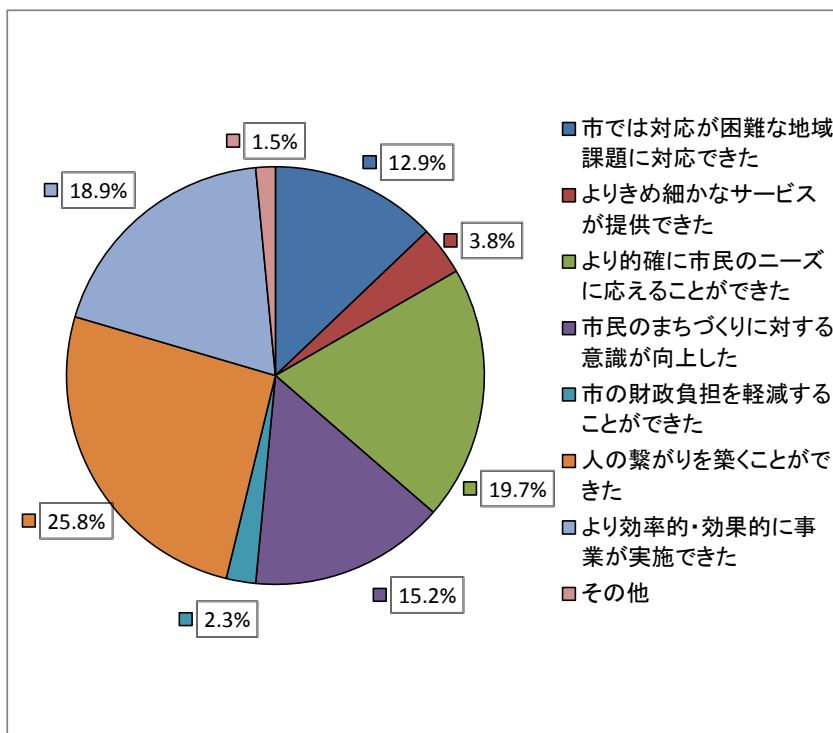
職級別

回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
協働した経験がある	83	40	39	1
協働した経験はない	125	29	21	1
よくわからない	69	8	0	1
不明	0	0	1	0

3-2. 問3-1で「① 協働した経験がある」を選んだ方にお聞きます。
 協働したことでどのような成果がありましたか。(当てはまること全てに○、最も当てはまるもの1つに◎)

最も当てはまるもの(◎)

回答	計
市では対応が困難な地域課題に対応できた	17
よりきめ細かなサービスが提供できた	5
よりの確に市民のニーズに応えることができた	26
市民のまちづくりに対する意識が向上した	20
市の財政負担を軽減することができた	3
人の繋がりを築くことができた	34
より効率的・効果的に事業が実施できた	25
その他	2



年数別

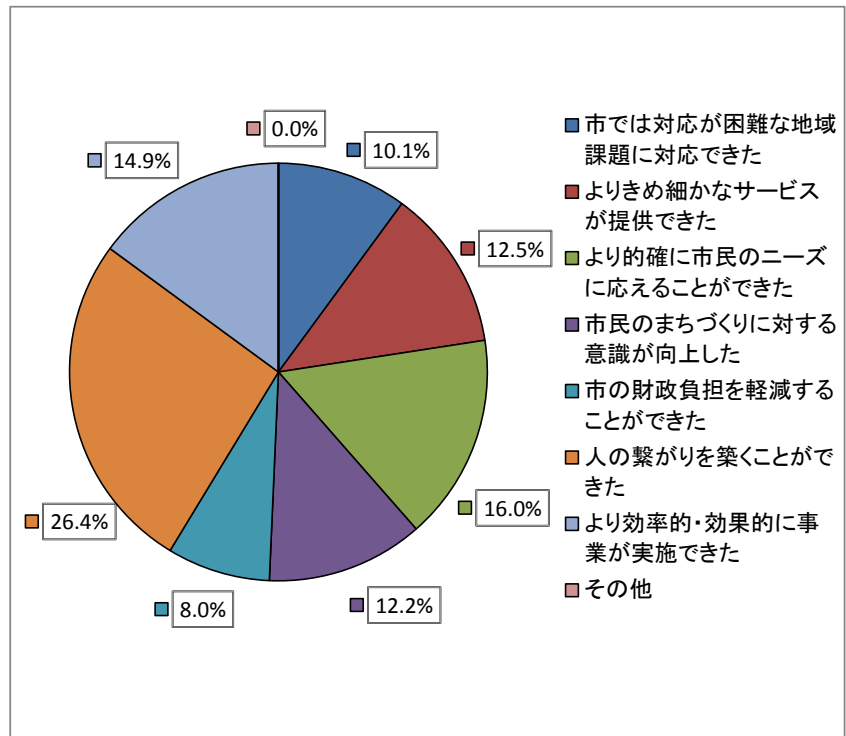
回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
市では対応が困難な地域課題に対応できた	3	5	1	2	6
よりきめ細かなサービスが提供できた	1	0	1	2	1
よりの確に市民のニーズに応えることができた	6	4	9	2	5
市民のまちづくりに対する意識が向上した	3	7	4	1	5
市の財政負担を軽減することができた	1	0	0	0	2
人の繋がりを築くことができた	6	9	9	7	3
より効率的・効果的に事業が実施できた	9	6	6	1	3
その他	1	0	0	1	0

職級別

回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
市では対応が困難な地域課題に対応できた	7	2	8	0
よりきめ細かなサービスが提供できた	1	2	2	0
よりの確に市民のニーズに応えることができた	11	7	8	0
市民のまちづくりに対する意識が向上した	9	6	5	0
市の財政負担を軽減することができた	1	0	2	0
人の繋がりを築くことができた	21	8	5	0
より効率的・効果的に事業が実施できた	16	5	4	0
その他	2	0	0	0

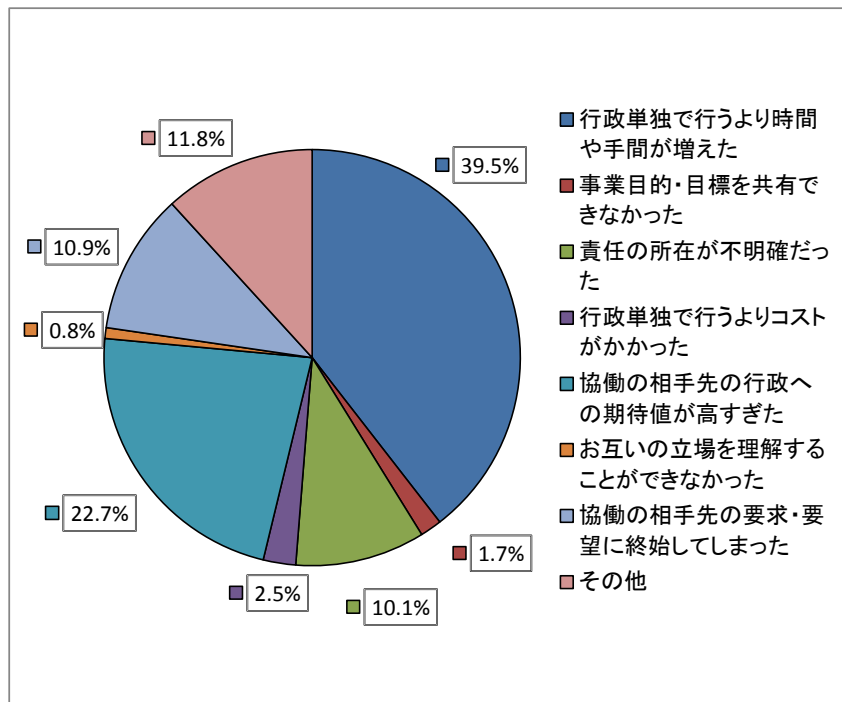
最も当てはまるもの(○)

回答	計
市では対応が困難な地域課題に対応できた	29
よりきめ細かなサービスが提供できた	36
よりの確に市民のニーズに応えることができた	46
市民のまちづくりに対する意識が向上した	35
市の財政負担を軽減することができた	23
人の繋がりを築くことができた	76
より効率的・効果的に事業が実施できた	43
その他	0



3-3. 問3-1で「① 協働した経験がある」を選んだ方にお聞きします。
 協働したことで課題に感じることがありましたか。(当てはまること全てに○、最も当てはまるもの1つに◎)

回答	計
行政単独で行うより時間や手間が増えた	47
事業目的・目標を共有できなかった	2
責任の所在が不明確だった	12
行政単独で行うよりコストがかかった	3
協働の相手先の行政への期待値が高すぎた	27
お互いの立場を理解することができなかった	1
協働の相手先の要求・要望に終始してしまった	13
その他	14



年数別

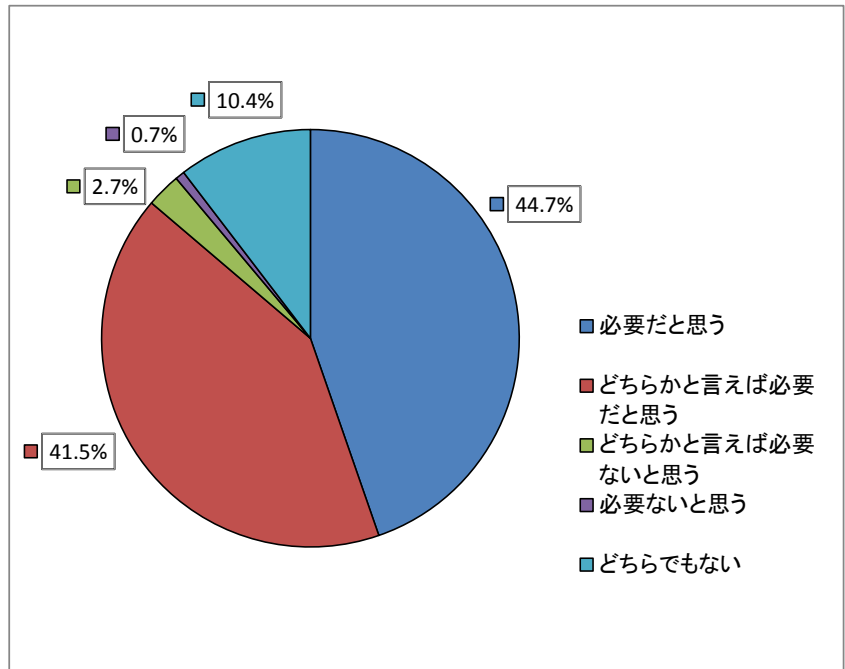
回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
行政単独で行うより時間や手間が増えた	3	5	1	2	6
事業目的・目標を共有できなかった	1	0	1	2	1
責任の所在が不明確だった	6	4	9	2	5
行政単独で行うよりコストがかかった	3	7	4	1	5
協働の相手先の行政への期待値が高すぎた	1	0	0	0	2
お互いの立場を理解することができなかった	6	9	9	7	3
協働の相手先の要求・要望に終始してしまった	9	6	6	1	3
その他	1	0	0	1	0

職級別

回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
行政単独で行うより時間や手間が増えた	7	2	8	0
事業目的・目標を共有できなかった	1	2	2	0
責任の所在が不明確だった	11	7	8	0
行政単独で行うよりコストがかかった	9	6	5	0
協働の相手先の行政への期待値が高すぎた	1	0	2	0
お互いの立場を理解することができなかった	21	8	5	0
協働の相手先の要求・要望に終始してしまった	16	5	4	0
その他	2	0	0	0

4-1. 今後、長岡京市で協働を進める必要があると思いますか？

回答	計
必要だと思う	185
どちらかと言えば必要だと思う	172
どちらかと言えば必要ないと思う	11
必要ないと思う	3
どちらでもない	43
不明	4



年数別

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
必要だと思う	52	45	33	21	34
どちらかと言えば必要だと思う	41	45	31	30	25
どちらかと言えば必要ないと思う	2	2	2	4	1
必要ないと思う	0	3	0	0	0
どちらでもない	4	10	13	11	5
不明	1	0	2	0	1

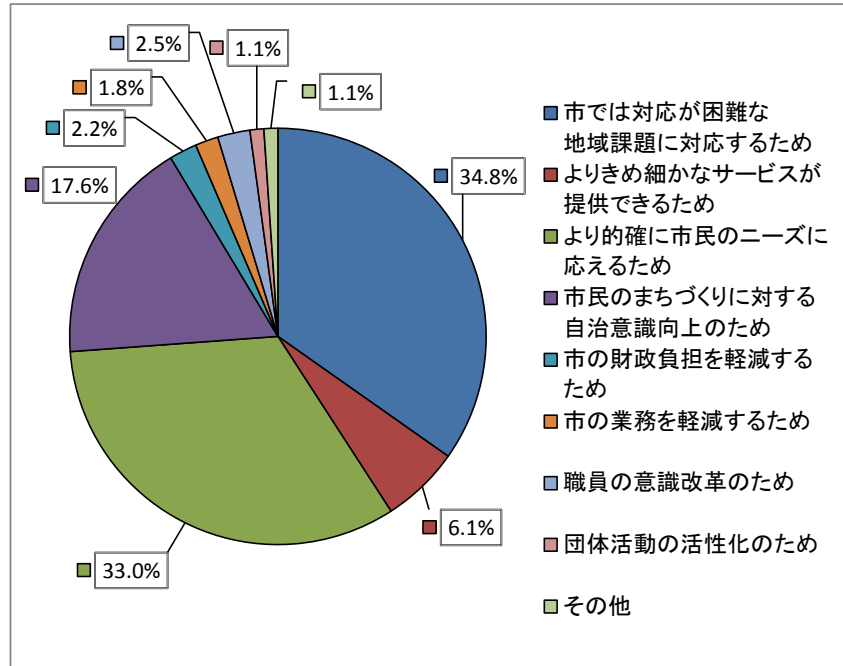
職級別

回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
必要だと思う	113	34	37	1
どちらかと言えば必要だと思う	115	36	21	0
どちらかと言えば必要ないと思う	8	2	1	0
必要ないと思う	3	0	0	0
どちらでもない	35	5	1	2
不明	3	0	1	0

4-2. 問4-1で「①または②」を選んだ方にお聞きします。

協働が必要だと思う理由はなんですか？(当てはまること全てに○、最も当てはまるもの1つに◎)

回答	計
市では対応が困難な地域課題に対応するため	97
よりきめ細かなサービスが提供できるため	17
よりの確に市民のニーズに応えるため	92
市民のまちづくりに対する自治意識向上のため	49
市の財政負担を軽減するため	6
市の業務を軽減するため	5
職員の意識改革のため	7
団体活動の活性化のため	3
その他	3



年数別

回答	～5年	6年～10年	11年～20年	21年～30年	31年～
市では対応が困難な地域課題に対応するため	25	32	17	11	12
よりきめ細かなサービスが提供できるため	3	6	3	1	4
よりの確に市民のニーズに応えるため	29	19	17	16	11
市民のまちづくりに対する自治意識向上のため	4	14	11	7	13
市の財政負担を軽減するため	1	2	1	1	1
市の業務を軽減するため	3	1	0	0	1
職員の意識改革のため	2	2	0	2	1
団体活動の活性化のため	3	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	1

職級別

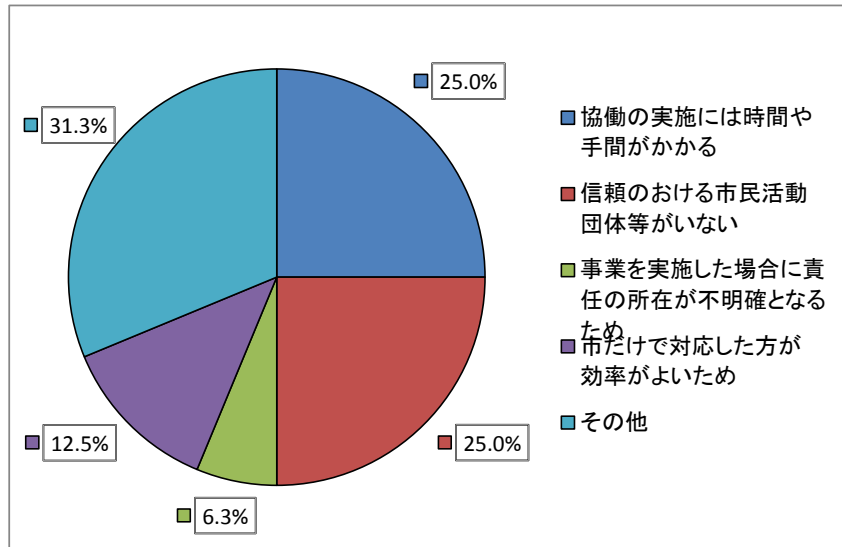
回答	一般職	監督職	管理職以上	不明
市では対応が困難な地域課題に対応するため	57	25	15	0
よりきめ細かなサービスが提供できるため	14	0	3	0
よりの確に市民のニーズに応えるため	61	15	16	0
市民の自治意識向上のため	27	13	9	0
市の財政負担を軽減するため	2	2	2	0
団体活動の活性化のため	5	0	0	0
職員の意識改革のため	5	1	1	0
その他	3	0	0	0
不明	0	0	3	0

4-3. 問4-1で「③または④」を選んだ方にお聞きします。

協働が必要だと思う理由は何ですか？(当てはまること全てに○、最も当てはまるもの1つに◎)

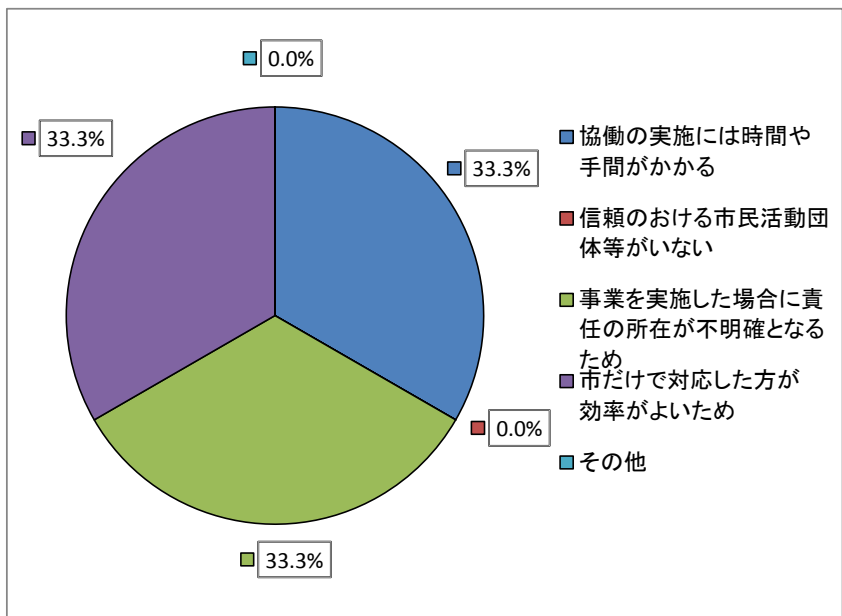
最も当てはまるもの(◎)

回答	計
協働の実施には時間や手間がかかる	4
信頼のおける市民活動団体等がない	4
事業を実施した場合に責任の所在が不明確となるため	1
市だけで対応した方が効率がよいため	2
その他	5



当てはまるもの(○)

回答	計
協働の実施には時間や手間がかかる	1
信頼のおける市民活動団体等がない	0
事業を実施した場合に責任の所在が不明確となるため	1
市だけで対応した方が効率がよいため	1
その他	0



※職級別、階級別については、母数が少数のため表にしていない。

感想

2-2

- ・課題・目的・目標を共有してそれぞれの得意分野を生かす役割分担のもと、事業を行うこと。

2-3

- ・市民団体の主体性が強いものをもっと取り上げて良いのではないかと思う。
- ・「協働」の共通理解の助けとなっている。市内だけでなく、他市の協働事例も紹介してみてはどうでしょう。
- ・イラストもかわいらしくて読みやすい。
- ・業務での直接的な関わりがないため、情報収集のツールとして活用しています。
- ・コンパクトに誌面がまとめられていて読みやすい。
- ・最近発行してますか？
- ・自分の業務以外でも読んでいてわかりやすく面白い
- ・読みましたが、内容は記憶にないです
- ・読み物として面白い。ワーキングでやっている中身が見えないケースが多い中、ワーキングでの取り組みが庁内全体に知れる意義も大きい。今後ものがんばって活動してほしい。
- ・”協働”といっても様々なあり方があると思うので、具体例を知ることにより、理解を深めるためには良いツールだと思う。
- ・インタビューが載っており、事業についての理解がより深まりました。
- ・市民協働を進めるためには市民との相互理解・信頼関係を築くことが不可欠だと思います。公私にわたり地域と関わりを持つ機会を持つこと等を通し、若手職員を中心に協働の輪を広げ、機運を高めていってほしいと思います。
- ・協働事例の紹介が業務の参考になるのでありがたいです。
- ・協働の様々な“かたち”を知ることができて良いと思う。
- ・協働のヒントになる情報発信をこれからも継続してください。
- ・後輩のみなさんがひきついてくれて本当にうれしいです。廃刊になると思っていました。
- ・事業としては知っていたものが取り上げられており、「これも協働事業だったんだ」という気づきがあった。
- ・親しみやすい内容で、活動の内容がわかりやすい。
- ・自分自身が直接協働に関わるのが無いので市がどの様な取り組みをしているか大変興味深く読んでいます。
- ・内容も身近なものでありとても読みやすい
- ・発行頻度が少なくて特に印象がない。
- ・若手職員さんのものがんばりを身近に感じられて、自分の励みになります。協働の意識づけに役立ちます。

3-1

- ・当てはまると感じるものがない

3-2

- ・市民の考えを聞くことができた。

3-3

- ・互いに求めすぎず出来る範囲で協働できた。期待しすぎない協力が良いのでは。
- ・相手に負担がかかりすぎた。
- ・会議の委員の専門分野の見地を出し合うことができた。
- ・年齢の高い人が多い
- ・④コストというのは行政面での人件費をさします。でもこれからのことを考えると、人のつながりをつくる必要経費と思います。
- ・相手先の要望に終始することはないが、行政側の趣旨と相手先の要望をすり合わせるのに手間などがかかると思う。
- ・課題と考えたことはない。この全てが市職員の仕事だから
- ・協働した相手(市民)のニーズに応えた事業となったか？実際の需要(協働に参加していない市民のニーズ)とは合っていない状況があった。
- ・事業開始当初に共有していた目的や役割を継続していくことが難しい。フェーズに応じた共有や協議の場手法に工夫が必要である。
- ・市民の要望と行政の考えとの間にはさまれ、行動の難しさを感じた
- ・当初の使命や役割を終えた事業の終結や規模縮小あるいは団体の解散など進言しにくい。
- ・当初は1,4導入時は4
- ・特殊な業務の場合、専門性の高い方々に依頼すべきだが、行政側もまかせきりにするのではなく同程度の知識を身につける必要がある。
- ・特に感じなかった
- ・人間関係に気を遣った。

4-1

- ・時間はかかるが、お互いを理解する機会となる。短期間の取り組みは難しいが、ある程度時間に余裕があれば目標の達成は可能と考える。

4-2

- ・見て見ぬふりをしている地域課題が多くあり、解決の担い手が現れた場合、可能な範囲での協働を進めることで解決の芽を育てるべきと考えます。
- ・市民・団体と市の役割分担
- ・行政としてできるサービスに限りがあるため(ニーズの多様性、人材不足、財政面)
- ・市民と直接繋がる機会は自治体職員にとって必要と思われるため。
- ・行政ではできないことややりにくいことに対して対応してもらうため。
- ・適材適所なので知識がある人をお願いするのは当然。費用を削る為に、市の職員がやると将来的にマイナスになる恐れがある。
- ・手間やその時のコストは掛かるが、長期的にみると効率化できてコストダウンへとつながる。
- ・必要かどうかと悩む点もあり、「協働」と言いつつ団体・市民の方は行政主導(特に資金、運営の主たる部分の調整、構築等の責任)を求め続け、行政の関わりが薄れると不満に思われる印象がある。

4-3

- ・事業の目的や種類によって協働するのが最適な方法なのか個別に精査していくべき。何でも協働する必要はないと思う。
- ・協働した経験がないため、必要性を感じない
- ・仕事のための仕事が発生する恐れがある。全庁的に人員が足りず時間外が発生している状況でこれ以上仕事が増えるのは望ましくない
- ・それぞれで目指している事や目的が異なっており、表面上でベクトルを合わせることが出来たとしても、事業を進めていく上で、根柢の部分の違いの溝が埋まらず、不具合が生じると考えるため。